

JP モルガン、チャイエックス・グローバルの少数株主として参加

2014年1月7日

チャイエックス・グローバル・ホールディングス・エルエルシー（以下「チャイエックス・グローバル」）は、本日、JP モルガンがチャイエックス・グローバルの少数株主として参加することを発表した。

JP モルガンは、チャイエックス・グローバルに株主コンソーシアムとして参画している BofA Merrill Lynch、Goldman Sachs、KCG Holdings Inc.、Morgan Stanley、Quantlab Group L.P.、UBS AG と共に少数株主グループを構成することになる。野村グループ傘下のインスティテュート・インコーポレーテッドは、その子会社を通じてチャイエックス・グローバルの筆頭株主として留まる。

この発表において、チャイエックス・グローバル会長である近藤文樹は「ワールド・クラスの金融機関で構成されている株主グループに JP モルガン が加わることは大変喜ばしい。今後さらに当社に対する金融機関、投資家層からの信頼が増していくための大きな節目となり得る。」と言及した。

チャイエックス・グローバル CEO であるタル・コーエンは以下のように述べている。「取引高の拡大や、機能拡充による執行即時性の向上が著しい当社の現況の中で、JP モルガンが当社少数株主の一社としてコンソーシアムを形成することは大変喜ばしい。今後も代替市場の活性化と取引環境の健全化を、より一層推し進めて行きたい。」

チャイエックス・グローバルについて

チャイエックス・グローバルは大手金融機関のコンソーシアムを株主としており、チャイエックス・オーストラリア、チャイエックス・カナダ、チャイエックス・ジャパンを運営している。また、チャイエックス・グローバルはグループのテクノロジー・サービス部門であるチャイテックを運営しているほか、BM&FBOVESPA と提携し、チャイ・エフエックスを共同で開発した。